

就労訓練事業の受け入れ体制モデル事業所 取組事例紹介

事業所の概要

- 事業所名 社会福祉法人翔の会 生活介護事業所ちがさきの木魂（茅ヶ崎市松が丘）
- 事業概要 知的障害者、身体障害者を対象とした通所施設

対象者の情報

- 40代男性 ●人間関係により離職するまでは就労を継続していた ●離職期間は10年以上
- 家族関係での悩みあり ●就労への意欲や能力は高い

訓練事業の概要

- 内容 清掃、食事介助 等
- 訓練日程 令和6年12月1日～継続中（令和7年6月時点） 週3日、各日8:30～12:30
- 受入体制 管理者1名、課長1名、主任1名、支援員複数名

就労訓練実施にあたっての工夫 等

●就労訓練実施の経緯

茅ヶ崎市地域福祉課より就労準備支援事業の利用希望があり、支援に繋がった。
就労準備支援事業では昼食作りやお弁当販売を行ったが、当初より周りが求める動きを先回りで行ったり、コミュニケーションも問題なくとれる様子であったため、1ヶ月ほどで就労訓練に移行した。

●具体的な内容

- ①清掃業務(館内・外)
施設周辺の落ち葉広い ⇒外周清掃（枯葉・落葉清掃）
- ②機械浴利用後の浴室清掃（消毒含む）
- ③館内清掃・消毒
- ④配膳準備
- ⑤食事介助

●訓練継続、就労に向けた工夫

2ヶ月に1回、自立相談支援機関、事業所職員、対象者の3者で面談を実施し状況を共有すると共に、日常的な声掛けや見守りによる支援を行った。

●自立相談支援機関との連携

対象者の様子を小まめに確認に来ているほか、面談への同席も行っている。
また、対象者が地域とのつながりも作れるように、ボランティア活動への参加に向けた調整も行っている。

●成果及び今後の支援

訓練開始後も遅刻・早退・休みなく、作業態度もきわめて真面目で誠実に取り組んでいる。作業内容への理解も高く、手順も独力で考え、効率良く作業を実行できている。
今後の希望としては、作業内容の拡大・時間・日数の増加を考えているとのことで、徐々に希望に応じて変更をしていくよう話し合っている。

就労訓練事業の受け入れ体制モデル事業所 取組事例紹介

就労訓練事業を活用した感想

『気持ちが少し前向きになった』 『新しいことに挑戦することもできた』

対象者の声

- ・就労に空白があったため、就労訓練事業を利用してみようと思った。
- ・介護関係の仕事に抵抗感があり、ハードルが高かったが、乗り越えることができた。
- ・**気持ちが少し前向き**になった。
- ・**新しいことに挑戦**することもできた。
- ・まだ進路に迷っているため、**訓練を継続し就労について考えていきたい**。

訓練事業所の声

- ・就労準備支援事業を利用していた頃から仕事に関する能力は高かった。
- ・前職を退職された原因が人間関係にあるとの話も伺っていたため、就労訓練事業において関係性作りの実績を積んでもらえることを期待した。
- ・**明るい話をしてくれることが増えている**。
- ・人手が不足し困ってしまうのではないかと、就労準備支援事業で行っているお弁当販売のお手伝いを進んで引き受けてくれる等、**人との繋がりを大事にしてくれている**。
- ・**既に就労の一手前**の段階まで来ていると感じる。本人の悩みや不安をよく聞き、**就職に向けた具体的な支援を実施**していきたい。

自立相談支援機関の声

- ・就労準備支援事業を安定的に実施しており、対象者の積極的な姿勢が評価され、体験内容が増えていったことから、次のステップとして就労訓練事業を適用。
- ・**就労準備支援事業と就労訓練事業が同一事業所での実施であるため、スムーズな移行**ができた。
- ・働くことへの不安があったが、**自ら仕事を見つける、仕事のやり方を工夫すると共に、定期的に自立相談支援機関等に相談**することで、**不安が解消**されているように感じる。
- ・訓練時間を増やしたり新しい業務に挑戦する中で、**自己決定**ができるようになった。
- ・就労訓練事業は、**対象者の経歴や特性への配慮**がある中で、**収入を得ながら自立に向けた準備**ができる。

勤務中の様子

